

◆日本共産党は、大軍拡・大増税許さず、命と暮らしを守る政治実現に全力を尽くします

休日当番病・医院

5月14日(日)

◆内科 夜間・休日急病センター
旭町 32-0099
◆外科 同樹会苦小牧病院
新中野町 36-1221
◆歯科 たかまつ歯科医院
明野新町 57-2300
診療時間：内科＝9時～翌朝7時、外科＝9時～17時、歯科＝9時～12時。本紙は毎週火曜日に編集のため、その後に休日当番医が変更になってもお知らせすることはできません。ご利用されるときには、あらかじめ電話でお確かめください。



法律相談



5月25日(木)
橋本 祐樹弁護士

(定員になり次第締め切ります)
日本共産党苦小牧地区委員会
苦小牧市見山町2-2-6 申込 56-5002

親身な相談で定評

しんぶん赤旗読者のための

日本共産党 民主苦小牧

発行 日本共産党苦小牧地区委員会

苦小牧市見山町2丁目2番6号 電話 56-5002 fax 56-5086
日本共産党のホームページ <http://www.jcp.or.jp>
苦小牧市議会ホームページ <http://toma-jcp.sakura.ne.jp/>
eメールアドレス commun@rose.ocn.ne.jp

日本が攻撃されるといふ想定は不合理

苦小牧九条の会講演会

神保弁護士が安保3文書を批判



安保三文書は、国家安全保障戦略、国家防衛戦略、防衛力整備計画の3文書を言い、反撃能力(敵基地攻撃能力)の保有や、防衛費総額を5年間で43兆円とすることなどを明記し、昨年12月に閣議決定しました。安保政策の大転換で、平和憲法に基づく戦後日本のあり方を覆す暴挙です。

憲法施行から76年を迎えた記念日の3日、苦小牧九条の会は、平和を守り軍備拡大に歯止めをかけるための講演会をアイビープラザで開きました。「許すな!軍備拡大」安部三文書改訂はどんな未来を狙うのか?と題し、「明日の自由を守る若手弁護士の会」共同代表の神保大地弁護士が講演しました。

開演にあたり佐々木功事務局長は、「新聞の世論調査によると、若い人に9条を変えざるべきとする人が増加している。自分の日常として考えられておらず、どうなるか心配だ」とのべ、憲法9条を朗読。「憲法が壊されないうちに、私たちの運動の力の発揮が必要だ」とあいさつし、学びを強調しました。



危険な軍拡の動き止めよう

紙議員ら憲法記念日宣伝

改憲恐ろしい

憲法記念日の3日、日本共産党の紙智子参院議員を先頭に、畠山和也元衆院議員、長屋いずみ札幌市議らは札幌市の麻生駅前街頭演説を行いました。

紙議員は、連休明けの国会でさまざまな悪法が出される重大な局面を迎える」と指摘。「岸田政権の大軍拡は、憲法9条に反するだけでなく、憲法が保障した平和、人権、民主主義をないがしろにするものです。危険な動きに歯止め

参加者らが、「憲法にYES 軍拡にNO 平和外交今こそ」と書かれたビラや「しんぶん赤旗」の見本紙を配ると、通行人が次々と受け取りました。

講演終了後、総会が開かれ、これからの活動計画や予算案が確認されました。

参加者らが、「憲法にYES 軍拡にNO 平和外交今こそ」と書かれたビラや「しんぶん赤旗」の見本紙を配ると、通行人が次々と受け取りました。

衛費の増加分の毎年5兆円あれば、子育て教育や年金、医療、消費税減税ができる」とし、「根本は、市民と野党の共同で政治を変えることです」と強調しました。

参加者から、徴兵制の可能性や閣議決定が増えている現状について質問がだされました。神保弁護士は、「企業には人手不足の状況があり、若い人は民間に就職し、自衛隊にはいけません。経済的徴兵制は増えていくだろう。またなんでも閣議決定はおかしい」と声をあげ、国会の審議をしっかりとらせる運動が必要だと強調しました。



マイナカード強制になる健康保険証の廃止撤回を日本共産党

ほんの紹介

◆動物写真家の記憶 前川貴行著(新日本出版社) 3410円(税込) 自然に魅せられた写真家が記憶と信条に迫るフォトエッセイです。

きれいな地球と平和残そう

メーデー 苦小牧集会

物価高と回る賃上げを



「戦争する国づくりのための軍拡・増税反対」「物価高騰から暮らし守れ」と1日、第94回メーデー苦小牧地区集会所が若草町中央公園で開かれました。17団体などから180人が参加。

横山傑実行委員長(苦小牧地区労連議長)はあいさつし、春闘では多くの組合が奮闘し、前年実績を上回る賃上げを勝ちとっているが、日本の賃金水準は主要先進国の最下位グループから抜け出せずにいると指摘。「私たちの要求を実現するための取り組みを本気で構築し、物価の高騰を上回る賃上げ、年金の引き上げなどを実現して、内需を拡大し日本経済の本格的な再生につなげていこう」と強調し、働く者の権利と生活を守るために、一緒に力を合わせることを呼びかけました。

苦小牧市の小名智明産業経済部長、日本共産党の小野寺幸恵市議員、苦小牧広域農協の松原正明理事等が来賓として連帯のあいさつ。小野寺団長は、「原発も核のゴミも子どもの未来に残さない、非核平和都市条例制定から21年目の苦小牧市から綺麗な地球と平和を残すのは、おとなの責任です。働く人が困らない福祉のまちづくりのために、4人になった市議団は奮闘します」と力を込めました。

国民平和大行進 日本は核兵器禁止条約に参加を!

●5月25日(木) 14時～
●若草町中央公園
一歩でも二歩でも一緒に歩こう
平和な持続可能な社会を子どもたちへ

2023 原水爆禁止国民平和大行進実行委員会
連絡先: 苦小牧地区労連 33-3285

各界から3団体が2分開発言。「憲法を巡り危険な状況だ。政府に憲法を生かすよう訴え変えさせよう」と。子どもの医療費補助の拡充の署名を広げたいとの訴えや、「G

X電源法案は、原発を保護し、続けるというもので絶対反対だ」と政府などへの抗議を呼びかけました。

五月晴れの市内をデモ行進。「8時間労働を守れ」「軍拡のための増税反対」「カジノ誘致反対」などとシュプレヒコールし、声をあげました。日本共産党から小野寺団長の他、富岡隆、原啓司、森本健太の3議員に伊藤富志夫厚真町議、三浦恵美子安平町議が参加しました。

緊急の物価高騰対策求める

真下・丸山道議 知事に要請 暮らし守れ

統一地方選で当選した日本共産党の真下紀子道議と丸山はるみ道議は4月27日、鈴木直道知事に物価エネルギー高騰対策に関する緊急要請を行いました。

要望内容は、道民生活・生活困窮者、中小企業・事業者、第1次産業への対策強化を要請。道民生活では、2月に決定した道による緊急経済対策の着実かつ早期の実施を行うことや、電気料金引き下げを道として北電に要請することなどです。

第1次産業では、食料自給率が著しく低い実態から、一刻も早く脱却する対策を講じることなどを求めています。真下道議は、長期化する物価や電気料金高騰などで道民への影響ははかり知れないと

生業と暮らし守るために
インボイス
実施中止を
日本共産党



が参加しました。



みなさんと一緒に
声あげる

国会かけある記 いわぶち友で

連休は久しぶりにリアルでのメーデーや憲法記念日の集会など、思い切って声をあげました。みんなで集まって声をあげることでこんなに元気になれるのだと思いました。

連休明けの国会は、問題点が次々明らかとなり、国民が反対する軍拡財源確保法案が衆議院で、原発推進等5法案、マイナンバー法等改定案、入管法改悪案、軍需産業支援法などの強行が参議院で狙われています。

この間、議員会館前では抗議の声がががり続けました。私は、市民団体のみなさんが「原発回帰を許さな



原発推進法案の参院委員会可決で抗議集会

とを感じます。戦争する国づくりも、原発回帰も、くらし、民主主義破壊も許さない。みなさんと力を合わせて奮闘します。

岩淵友(いわぶち・とも)
日本共産党参議院議員

●中学卒業まで通院に助成を。「乳幼児等医療費助成制度の年齢拡大を求める署名」にご協力をお願いします。